



松ヶ崎だより

学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40
TEL.075(781)3380／FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



令和7年10月27日

..京都市立松ヶ崎小学校
校長 服部 恵介



アンケートへのご回答ありがとうございました

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは学校評価の一環として、子どもアンケートとともに実施しています。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした自己評価についてダイジェストでお伝えします。

＜アンケート調査の概要＞

※本年度より保護者アンケートは「すぐーる」アンケートに変更

対象	調査期間	対象数	集計数
子ども	6月23日(月)～6月27日(金)	342名	336名(98.2%)
保護者	6月23日(月)～6月30日(月)	342名	315名(92.1%)

＜アンケート調査の特徴＞

比較評価のため児童・保護者・教職員のアンケートでの質問を、それぞれが同じ内容になるように項目をそろえている。

例) 項目1

子:学校へ行くのが楽しい。

保:子どもは、学校へ行くのが楽しいと感じている。

教:学校が楽しいと感じるよう、授業をしたり活動をさせたりしている。

＜アンケートをもとにした自己評価の流れについて＞

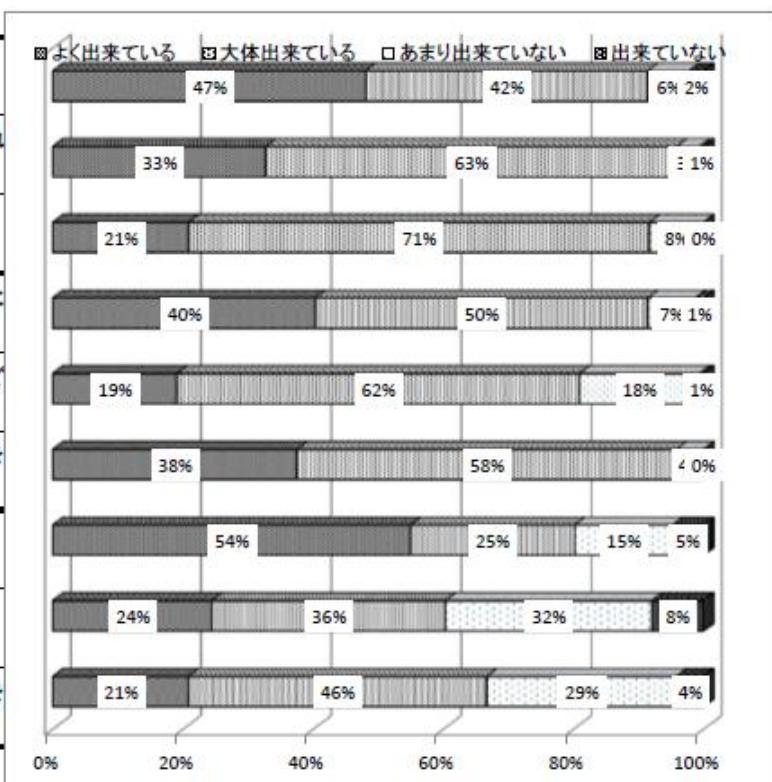
- ① 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 という3つの視点で教職員にもアンケート調査を実施(6月)
- ② アンケート結果をもとに成果と課題を明らかにし、課題の解決に向けた取組を教職員で話し合うための研修会を実施(8月25日)
- ③ 自己評価の中身について、学校運営協議会に説明。学校運営協議会から、自己評価に対する意見と評価(10月8日)
- ④ 成果と課題、課題の解決に向けた取組をまとめた「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」を作成(10月)

＜ダイジェスト版の見方＞

保護者・子ども・教職員アンケートの結果を、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成という3つの視点に分けて、グラフで示しています。紙面の関係上、保護者や子どもアンケート結果のすべてを載せることができませんが、ご容赦ください。研修会を経て作成した「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」については、ホームページ上に公表いたします。

「確かな学力」の育成に向けて

子	授業がわかりやすく楽しい。
保	学校では、わかりやすく楽しい授業が行われている。
教	わかりやすく、楽しい授業を行っている。
子	話を聞く時は、相手を見て、最後まで静かに聞いている。
保	子どもは、相手を見て最後まで聞くことができる。
教	「相手を見て、最後まで聞く」ことの指導を徹底している。
子	自分からすすんで本を読んでいる。
保	子どもは、すすんで読書をしている。
教	授業等で、読書に親しむような指導や取組を行っている。



<アンケートから見えてきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(◎)>

1. 楽しく学ぶ授業

- 交換授業の実施によって、担任団で学年の情報を共有することができている。
- 地域のゲストティーチャーに来ていただいて、体験を伴う楽しい学習を実施することができている。
- 友達の意見に付け足したり、つなげたりする授業スタイルが十分に実践されていない。クラスによる差がある。
- 担任と児童、児童同士の関係を築いていく。
- かがやき学習を中心に積極的に地域の方に講師をお願いしていく。
- グループでの活動を授業に取り入れ、協働的な学びとなるようにする。

2. 読書の習慣

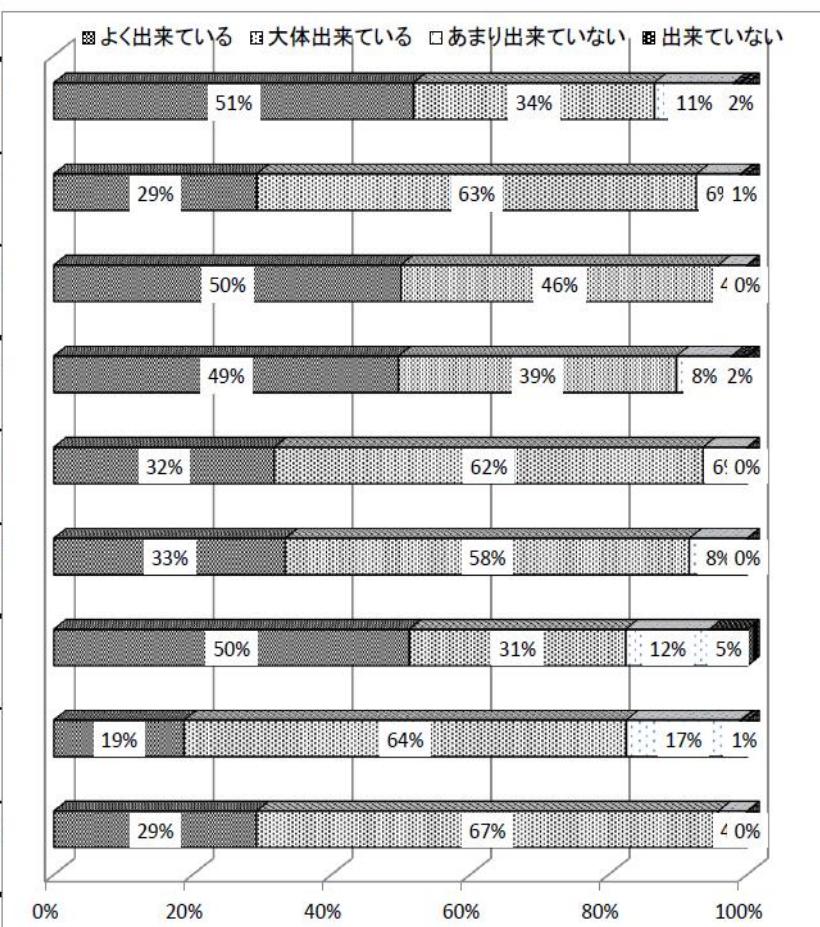
- 読書が習慣づいていて、多くの本を読む子どもが一定数いる。
- 図書ボランティアの方に定期的に読み聞かせの時間を設定していただいた。
- 読書習慣が定着している児童の割合はあまり高くない。
- 図書館教育部と読書ボランティアの連携を積極的に行い、読書活動の充実につなげる。

3. 全体を通して

- 6年生の全国学力学習状況調査、5年生6年生のジョイントプログラムの結果より、全体的に高い学力がついていることが確かめられた。
- 2nd GIGAに移行し、児童用タブレットがiPad、更にデジタルデバイスの活用が進んでいる。
- 上の学年になると、学習内容の定着の割合が低くなっている。
- 高い学力をベースに質の高い授業が行えるように教職員の研修を進めていく。
- 授業技術の向上を図るための公開授業を行う。

「豊かな心」の育成に向けて

子	先生は、自分のよいところやがんばっているところをほめてくれる。
保	学校の教員は、子どもの良い所やがんばっている所を認め、ほめている。
教	子どもの良い所やがんばりをほめ、価値を伝えている。
子	友達の良い所を見つけ、誰とでも力を合わせて頑張っている。
保	子どもは、友だちの良い所を見つけ、伝えることができる。
教	「共感的人間関係を育成する」手立てを日常の授業の中で行っている。
子	自分にはよいところがあると思う。
保	子どもは、自分の良い所を自覚している。
教	「自己存在感を与える」手立てを日常の授業の中で行っている。



<アンケートから見えてきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(◎)>

1. 「あいさつ」「はきもの」

- こだわってきた「あいさつ」の習慣が全体に浸透してきている。
- はきものが揃っていないくとも、教職員が忙しさを理由に意識できていないことがある。
- あいさつと履物について、当たり前に出来ていることを具体的にほめて価値づけをしていく。
- 教職員が積極的にあいさつする姿を見せる。
- 日々のあいさつの様子、はきものの様子をしっかりと観察し、声掛けを続ける。

2. 自己肯定感・自己有用感

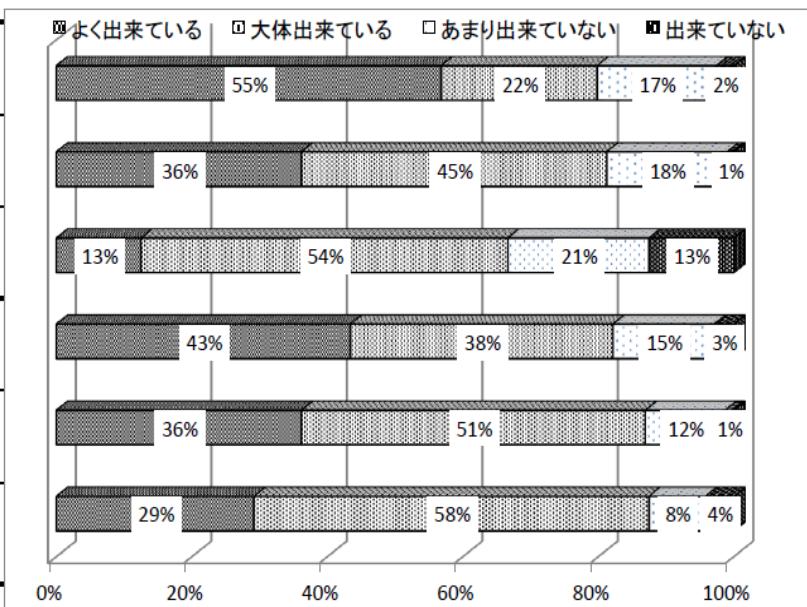
- 自己肯定感が高い児童が多い。
- 家庭で大切にされている児童が多く、学ぶ素地が育っている。
- 学校に不安を感じる子、不登校傾向の子もいる。
- 教職員が一人一人の良さを認め、そのことを伝えていく。
- 温かい人間関係が築かれる学級経営を心がける。

3. 全体を通して

- 毎月の朝会で校長の話や計画委員の劇で、各月の人権テーマについて考えることができている。
- 学校の雰囲気が全体的に落ち着いており、一人一人の子どもが穏やかに過ごすことができている。
- 人権教育を大切にし、テーマをもった指導を意識する。

「健やかな体」の育成に向けて

子	外遊びなどで、進んで体を動かしている。
保	子どもは、すすんで体を動かす遊びをしている。
教	色々な運動遊びを子どもに教えている。
丑	早寝、早起きをして、朝ご飯を食べている。
保	子どもは、早寝・早起きをし、朝ご飯を食べている。
教	早寝、早起きをし、朝ご飯を食べることについて指導をしている。



<アンケートから見えてきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(◎)>

○外遊びをする児童の割合は高い。

●猛暑のため外に出られない事が多くあった。

●遅刻する児童が多い。

◎外遊びは担任の意識によって、外で遊ぶ子の割合が変わるので、担任の指導の一つと捉えるようにする。

◎休み時間の児童の様子を見て、外遊びしない子には担任が声掛けをしたり、一緒に遊んだりする。

自由記述から

ご多用の中、自由記述欄にもご意見をいただき、本当にありがとうございました。いくつか、紹介します。

日々の学習・生活について

- 最初は馴染めるか親子ともに少し心配だったので、良い環境を作つて頂き大変感謝しています。ありがとうございます。
- 演習も大事だが、重要な基礎の部分の理解を徹底させて欲しい。
- タブレットの宿題を減らしてほしいです。
- 学年があがり、進んで楽しく取り組める授業が増えたように思います。子ども主体で考え方行動できる場面がもっと増えていけば良いと思います。小さな決め事など。

学校行事について

- プールの授業が少ないので、もう少し増やして欲しいです。
- 水泳の授業のスタートが遅いなど感じています。

その他

- 異常な猛暑が続いているので、登下校時の熱中症対策を学校主導で積極的に取り組んだほうがいいかと思います。
- ホームページの更新がどの学年も同じくらいあると嬉しいです。

ご意見ありがとうございます。紹介できなかったご意見も含めて、お答えできるものについては、個人懇談の場などでもお伝えしました。

ご家庭・地域の皆様におかれましては、日々の教育活動を支えていただきありがとうございます。引き続き、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。